

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

2021年3月30日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 263-0051

所在地 千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7

評価機関名 特定非営利活動法人 コミュニティケア街ねっと

認証評価機関番号

機構 11 - 208

電話番号 043-29-8015

代表者氏名 岩上 章子



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	小島恒次	経営	H1101013
	②	小島富子	福祉	H1501074
	③	北島明枝	福祉	S1511022
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可小規模保育事業			
評価対象事業所名称	Kid's Patio ひがしこまつがわ園			
事業所連絡先	〒	132-0033		
	所在地	東京都江戸川区東小松川2-10-5 三京ビル1階		
	TEL	03-5662-6070		
事業所代表者氏名	栗原 きくえ			
契約日	2020年 12月 16日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 12月 17日			
利用者調査結果報告日	2021年 2月 6日			
自己評価の調査票配付日	2020年 12月 17日			
自己評価結果報告日	2021年 2月 6日			
訪問調査日	2021年 2月 16日			
評価合議日	年 月 日 評価合議日を入力してください。			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は保護者全数のアンケート調査とした。評価にあたっては、保育の専門家をチームに加えた。当評価機関と保育所には特別な関係性はなく、第三者の視点で評価を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021年3月25日

事業者代表者氏名

株式会社 か え で
代表取締役 小林 尚 司



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)児童福祉関連諸法に基づき、子どもの最善の利益を保証する。 2)子ども一人ひとりの個性を尊重し、心身共に健やかに育む。 3)時代のニーズにこたえる。 4)子どもに安全な環境を提供し、運営の向上に努める。 5)子ども、保護者、地域への社会的責任を果たす。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>児童福祉法関連法令遵守のもと、保育所保育指針を念頭に置き、子どもの最善の利益を考慮、配慮して保育にあたる人材。 保育を必要とする子ども、保護者へのサービスの提供を役割とする。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの最善の利益を常に念頭に、大切な命をお預かりしている使命感。</p>

調査対象

利用家族全世帯に向けて保護者アンケートを実施した。

調査方法

アンケートは郵送とし、返信用封筒で評価機関に直接戻ってくるようにした。

利用者総数	19
利用者家族総数(世帯)	19
共通評価項目による調査対象者数	19
共通評価項目による調査の有効回答者数	15
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	78.9

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度では、「大変満足」「満足」が合わせて100%という結果で、大変保護者の満足度が高い。どの質問項目も満足度が高いが、中でも問11の「けがや体調が悪くなった時の職員の対応は信頼できるか」問13の「職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれているか」という設問には回答者全員が「はい」と回答しており、職員への信頼が厚いと思われる。一方で、問17の「職員以外の人にも相談できることを伝えてくれたか」という設問では、「いいえ」が60%であった。「非該当」も27%であり、相談することがないという保護者が「非該当」にしたと思われる。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	14	1	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7%という結果であった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	14	1	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7%という結果であった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	13	1	1	0
「はい」が87%、「どちらともいえない」「いいえ」が各7%であった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	8	7	0	0
「はい」が53%、「どちらともいえない」が47%であった。「コロナ禍により制限がある。」という意見があり、そのため「どちらともいえない」のパーセンテージが大きかったと思われる。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	12	1	0	2
「はい」が80%、「どちらともいえない」が7%、「非該当」が各13%であった。変更したことがないという保護者が「非該当」としたと思われる。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	13	2	0	0
「はい」が87%、「どちらともいえない」が13%であった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	9	1	0	5
「はい」が60%、「どちらともいえない」が7%、「非該当」が33%であった。コロナ禍で行事が中止になることもあり、「非該当」が多かったと思われる。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	13	2	0	0
「はい」が87%、「どちらともいえない」が13%であった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	14	1	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7%という結果であった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	1	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7%であり、満足度が高い。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	15	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答している。職員が信頼されていることがうかがえる。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	7	2	0	6
「はい」が47%、「どちらともいえない」が13%、「非該当」が40%であった。トラブルがないという保護者が「非該当」にしたと思われる。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	15	0	0	0
「はい」が100%という結果であり、満足度が高い。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	13	1	0	1
「はい」が87%、「どちらともいえない」「非該当」がそれぞれ7%であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	12	2	1	0
「はい」が80%、「どちらともいえない」が13%、「いいえ」が7%であった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	13	0	0	2
「はい」が87%、「非該当」が13%であった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	9	1	1	4
「はい」が60%、「どちらともいえない」「いいえ」が各7%、「非該当」が27%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	園の保育理念や保育目標を職員に周知し、保育実践に取り組んでいる 運営会社の保育理念や保育目標などをホームページや園のしおりに載せている。全体的な計画には園の保育理念や保育目標及び年齢別の保育目標を掲げている。年間指導計画は全体的な計画に基づいて策定し、月間指導計画に落とし込まれており、月末での指導計画の評価・反省では、目指している保育を確認しながら次月につなげている。保護者には入園前面接で園の保育理念や保育目標などを説明している。実践面はクラスだよりや連絡帳などで伝えている。	
	園長は自らの役割と責任を果たし、リーダーシップを発揮している。 園長は年度初めに全体的な計画を配布・説明し、職員と園の目指す保育への共通理解を図っている。毎月の職員会議や毎日の昼礼にも参加し、園の方向性を示したり子どもの情報を共有したりしている。職員との個人面談も随時おこない、意向を把握したり保育の助言などをしている。また、毎月の園だよりも発行しており、所感や季節のトピックスを載せ保護者に配布している。園長は理念の実現に向けて自らの役割と責任を果たし、方向性を示しリーダーシップを発揮している。	
	園の案件は昼礼や職員会議で検討・決定している 園の運営は区の指導のもと実施しており、法令等を遵守した適切な運営に努めている。園の案件は昼礼や職員会議で話し合い、決定したり確認している。非常勤職員には園長やクラス担任等が決定事項等を伝えている。保護者に関係することは、掲示したり口頭で伝え、内容によっては文書で周知している。なお、職員自己評価からは、決定事項が十分伝わっていない部分もあることがうかがえる。非常勤職員のシフトは多様であり、確実に周知するため申し送りノートを作りたいとしている。今後の取り組みに期待したい。	

2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
		サブカテゴリー1(2-1)	
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		<input type="radio"/> 非該当
		サブカテゴリー2(2-2)	
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	0/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(●●●)	
評価	標準項目		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(●●●)	
評価	標準項目		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評			
園を取り巻く環境の把握に努め保育士のスキルアップを課題としている			
保護者の意向は送迎時に聞いたり連絡帳などで把握に努め、昨年度は希望者との個人面談でも話あった。また、保護者が参加する夏祭り等の行事後にアンケートを取り、感想や意見などを聞いている。職員の意見は職員会議やミーティングで聞いたり月報に記入してもらっている。地域の現状は小規模事業所連絡会で行政から情報を得たり、参加園と意見交換したりしている。また、要保護児童対策協議会で地域の子どもの現状の把握ができています。現状の課題として、保護者のニーズに対応できる保育士のスキルアップを掲げている。			
全体的な計画に基づいてクラス別の年間指導計画や月間指導計画が作成されている			
全体的な計画が策定され、養護と教育などについて年齢別にきめ細かく展開している。また、食育の推進や環境及び衛生管理並びに安全管理、災害への備え、子育て支援、職員の資質向上などを挙げている。全体的な計画に基づいて年間指導計画が作成され、月刊指導計画及び週間指導計画に落とし込まれている。保育総括や食育総括は4期に分けて実施し、その他の計画についても会議の中で取り組みを確認している。なお、園として事業計画を策定し重点課題などを明確にして取り組むことも期待したい。			

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

園職員として守るべきことを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

職員には入職時に勤務規律などが記載された就業規則を読んでもらったり、個人情報の取り扱いについて説明をしている。園内研修では人権擁護や児童虐待防止、ペアレントサポート研修などをおこない、子どもの権利擁護についての理解を深めている。また、虐待防止マニュアルを整備するとともに、職員には人権擁護のためのセルフチェックをやってもらい、結果を集計し傾向などを話し合っている。職員自己評価でも回答者全員が「園職員として、守るべき法・規範・倫理が理解でき、遵守している」と答えるなど、周知徹底が図られていることがうかがえる。

保護者の意向に速やかに対応する体制を整えている

重要事項説明書に保育内容に関する相談・苦情の窓口として、担当者や解決責任者の氏名と電話番号及び区の窓口などを載せ、入園前の個人面談で苦情解決の制度を利用できることを説明している。また、園の苦情解決の体制は玄関にも掲示し、目に付くようにしている。苦情対応に関するマニュアルが作成されており、苦情を受け付けた場合は担当保育士や園長が対応し、解決を図ることになっている。日々の保護者の意向は、送迎時に聞いたり連絡帳などで把握に努めている。把握した意向はミーティングで内容を共有し、迅速に対応するよう心掛けている。

地域のネットワークに参画し、地域の一員としての役割を果たしている

小規模事業者連絡会に2か月に1回参加し、行政からの連絡事項を聞いたり他園と情報交換などを行っている。また、要保護児童対策協議会の全体会や地区別会議に参加しており、地域の民生委員や小中学校・幼稚園・保育園の代表と、地域の子どもの情報を共有したり意見交換などを行っている。各ネットワークには園長が参加しており、地域の一員としての役割を果たしている。なお、園の情報を地域に発信したり、地域との交流など開かれた園とすることも望まれる。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

3/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>リスクに関するマニュアルを整備し必要な対策を講じている</p> <p>危機管理マニュアルや事故防止マニュアルなど、リスクに関するマニュアルを整備している。避難訓練は年間計画のもと地震、火災、洪水などを想定し毎月実施し、緊急連絡網も作成している。現在、優先順位の高いリスクは新型コロナ感染対策であり、行政の指示に従って対応している。保護者にはマスクの着用及びアルコール消毒をもらい、子どもの受け渡しを玄関でおこなっている。給食は子どもたちは横並びで話をしないで食べるようにするなど、感染防止に取り組んでいる。なお、大災害に備え、本部と連携し事業継続計画の作成も検討されたい。</p> <p>ヒヤリハットは意識して数多く収集することが望まれる</p> <p>感染症が発生した場合は玄関に掲示して注意を促し、痙攣等が起きた場合は救急車を呼ぶなど安全を第一としている。ヒヤリハットや事故は記録に残し職員間で共有しているが、報告件数は少ない。重大事故の防止のため、ヒヤリハットは意識して収集することを望みたい。園長は保育での「気づき」として収集するよう話をしており、簡単な書式として記録しやすくすることもよいと思われる。また、再発防止策は期間を定め、有用性などを検証することも期待したい。</p> <p>個人情報の管理・保護に努め漏洩防止に取り組んでいる</p> <p>会社のプライバシーポリシーが策定され、個人情報の利用目的や提供、開示・訂正などを明示している。職員とは入社時に秘密保持について誓約書を提出してもらい、保護者には入園前面談で説明し同意書を取り交わしている。児童票などの重要書類は鍵のかかるロッカーで保管し、パソコンはパスワードで管理している。子どもの写真についてはウェブサイトで公開し、専用のパスワードでのみアクセスできるようにしている。保護者が参加する夏祭りなどの行事の写真は、他児を撮らないことやSNSに載せないことを周知している。</p>		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(○○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(○○○●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 **3/3**

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

多様な研修の機会を提供し、職員の資質の向上を支援している
職員に研修の機会を提供しており、職員は園内研修や外部研修、キャリアアップ研修などを受講している。園内研修は年間計画のもと、テーマを決めて毎月おこなっており、熱中症対策や感染症対応などは季節に合わせタイムリーに実施している。園外研修は行政が主催する防災研修や保育の実践的な研修に職員を派遣している。キャリアアップ研修は、該当する職員に専門的な内容を受講してもらっている。職員には多様な学びの機会を提供し、資質の向上を支援している。

安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる
職員の就業状況は把握しており、有給休暇の消化の少ない職員には取得を促し半日休暇なども勤めている。シフトの作成時には、勤務帯や休暇の希望を考慮している。職員の健康対策では、健康診断やインフルエンザなどの予防接種に補助をしている。園長はカウンセラーの資格もあり、相談に乗ったり、日々の保育で職員の成長を感じたところは伝えている。なお、職員自己評価では、「シフト通りの勤務時間、休暇となっていて働きやすい」との意見が複数あり、安心して働き続けられる職場環境と思われる。

日頃の気づきや工夫を保育や業務改善に活かしている
保育における気づきなどは毎日の昼礼で話し合い、統一した保育ができるようにしている。クラスでは環境について話し合って改善に取り組み、子どもの自主性を尊重するようにしている。職員自己評価でも、「日頃の気づきや工夫について、他の職員と話し合い保育の質の向上や業務改善に活かす機会がある」と答えるなど、チームワークで取り組んでいることがうかがえる。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度の重点課題のひとつに「紙オムツの園での処分」を掲げた。課題を抽出した背景として、保護者が「お迎え後」に買い物することや、一日のオムツの量は多く、負担になるとの声があり、保護者の要望に応えるために課題として掲げ、園で処分することを掲示などで保護者に周知した。また、健康状態を把握するため持ち帰りも可能とし、保護者にも希望を確認した。なお、ウイルス感染が疑われる場合は持ち帰りを依頼している。取り組みの結果、子どもの迎え時に余裕ができ、保護者とゆっくり話することができるようになった。保護者からも好評であり今年度についても継続して実施している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保護者の声を反映した「園での紙オムツの処分」という課題を設定しており、ニーズに沿った保護者支援のひとつと言える。結果として帰宅途中の買い物などがし易くなっている。副次的な効果として迎え時に余裕ができ、保護者とのコミュニケーションも深まっている。取り組み結果を検証し、今年度も課題を継続するとのことであり、保護者との信頼関係がさらに深まることが期待される。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度の重点課題に「園内環境の改善」を掲げた。理由として、子どもの自主性や主体性を尊重し、子どもの興味に合わせた遊びこめる環境が不十分であったことがある。取り組みとして、個々の月例や発達に合わせたコーナー作りなどの環境設定をおこなった。また、年齢に合わせて子どもの手の届く所に玩具や絵本などを配置し、ハサミ、クレヨン、折り紙などは安全に配慮しながら、要求に応えて出せるようにした。取り組みの結果、子どもが好きなものを手に取ってゆっくり遊べることで安定してきた。成果も出ており、課題については今年度も継続して取り組んでいる。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

課題については、職員と共通認識のもと取り組んでいる。特にコ ナ 作りなどの環境設定は、クラスで話し合い取り組んだ。取り組みの結果、子どもが好きなものを選び、ゆっくり遊べるようになり安定してきた。2歳児クラスの高月齢児には、発達や理解度に合わせ簡単な決まりや小集団での遊びの楽しさを知らせている。取り組みを振り返り、今後は個々の思いを受け止め、集団での関わりや遊びが楽しめる幼児期に繋げていけるようにしたいと考えている。子どもの主体性を尊重した保育に、さらに取り組みことを期待したい。

II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>利用希望者には園のホームページなどで情報を提供している ホームページで事業所の写真と所在地、定員、保育時間、園長挨拶、園の特徴などのほか、園児が玩具で遊んでいる様子などを写真付きで紹介しており、分かりやすく情報提供をしている。また、行政のホームページの小規模保育園一覧にも園名を掲載している。利用希望者からの電話やメールでの問い合わせには、職員が統一した対応ができるよう情報共有を図っている。見学は随時受け入れており、園長が対応している。</p> <p>小規模保育園連絡会に参加し、情報を提供したり意見交換をおこなっている 区の小規模保育園連絡会の会議には園長が参加し、園の情報を提供したり他園や行政から情報を得ている。直近では虐待についての児童相談所の対応や新型コロナウイルス感染症対策について話し合っている。会議の内容は昼礼などで報告し、職員間で情報共有を図っている。また、区の巡回指導も受けており、指摘については速やかに対応し改善を図っている。</p> <p>利用希望者の見学には園長が対応し、案内文書をもとに丁寧に説明している 利用希望者の問い合わせや見学には園長が対応しており、個別に電話やメールでやりとりをおこない、見学の際は園で作成している「通常保育・ごあんない」の文書をもとに丁寧に説明している。現在はコロナ禍であり、見学は園児の少ない土曜日に時間を分けて対応している。見学者については記録し、ファイルで保存している。今後は見学だけにとどまらず、育児相談もおこなうことを検討しており、取り組みに期待したい。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前面談で重要事項や保育内容を説明し、同意を得ている</p> <p>保護者には入園前面談で開園日・開園時間及び休園日や職員体制、毎日のスケジュールや食事の提供について、料金表などの重要事項を説明し、同意を得て契約書を取り交わしている。また、「通常保育 ごあんない」(園のしおり)をもとに保育目標や保育室の一日、年間行事、園の決まり事などを説明している。入園前面談は個別の面談であり、保護者の意向や子どもへの留意点などを聞き取り記録している。</p> <p>子どもの不安やストレスの軽減のため慣らし保育をおこなっている</p> <p>保育を始めるにあたり、子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮しており、保護者の意向や子どもの気持ち、健康状態を勘案し、その子に合わせた慣らし保育から始めている。また、慣らし保育の期間は保護者の就労にも配慮している。職員の配置にも留意し、保護者と子どもが安心して保育サービスが受けられるよう努めている。</p> <p>児童票や毎日健康管理表で子どもの状態を把握している</p> <p>子どもの情報は児童票や毎日健康管理表を職員間で共有し、保育に取り組んでいる。特に、毎日健康管理表は登園時間や降園予定時間、体温及び視診の状況、連絡事項などが盛り込まれ、職員は保育に入る前に記録を確認し、子どもの状況を把握したうえで保育に入っている。連絡事項は漏れがないように職員間で共有に努めている。急な転園や退園の際は、必要に応じて次の受け入れ園と連携を図っている。園は多様なケースに対応できるよう、保育の質の向上に努めたいとしている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況に応じた支援方針作成・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画に基づき年間指導計画・月間指導計画が作成されている 全体的な計画は園長が作成し、職員に配布・説明している。各クラス担任は全体的な計画に基づき年間指導計画を作成し、それをもとに月間指導計画に落とし込んでいる。月間指導計画は子どもの発達過程を見通し、具体的なねらいを明確にして作成し、月末には反省して次月の計画につなげている。月間指導計画はきめ細かく記載されており、職員間で共有し保育にあたっている。			
子ども一人ひとりの個別の指導計画を作成し、保育に取り組んでいる 保護者との個人面談で子供の発達状況や心身状況、生活状況などを把握している。個別の指導計画は子どもの実態、発達に合わせて作成し、課題に留意し月末に反省・見直し次月につなげている。さらに配慮が必要な子どもには、計画を別途作成し支援にあたっている。保護者には連絡帳や口頭で、日々の活動や生活面、情緒面などについて説明している。職員自己評価でも、回答者全員が「指導計画については子どもの実態や取り巻く状況の変化に即して作成・見直しをしている」と答えている。			
毎日健康管理表は職員間の情報共有のツールとして活用している 毎日、送迎時に保護者から聞き取った子どもの前日の様子、当日の様子を健康管理表に記録している。保育に入る前に確認するとともに、昼礼でも周知し、申し送りが確実にこなえるよう努めている。また、保育中の気づきはお迎え時に保護者に伝え、自宅で様子を見てもらうようしており、翌日にはその後の経過を聞いて記録するようにしている。毎日健康管理表の情報は職員間で共有し、園児一人ひとりの保育に活かしている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重			
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ5の講評			
<p>子どものプライバシーや羞恥心に配慮した保育に取り組んでいる</p> <p>法人のホームページにプライバシーポリシーをのせ、入園時には契約書における守秘義務と合わせ、個人情報の取り扱いについて保護者に説明し同意を得ている。日常の様子や行事の際に職員が撮った写真は、保護者の許可を得てホームページに載せている。夏の水遊びは玄関のブラインドを下ろし、外部からは見えないようにしている。オムツ交換や着替えなどは沐浴室でおこなうなど、プライバシーや羞恥心に配慮した保育に取り組んでいる。</p> <p>子ども一人ひとりを尊重した保育に努めている</p> <p>園の保育目標は「子ども一人ひとりの個性を尊重し子どもの最善の利益を尊重する」と謳っている。保育において子どもを尊重した保育に努めており、子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を心がけている。利用者調査(保護者アンケート)では、回答者全員が「職員は子どもの気持ちを大切にしながら対応していると思う」と答え、職員自己評価でも、回答者全員が「子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している」と答えており、適切な保育に努めていることがうかがえる。</p> <p>研修で人権などの理解を深め、子どもと保護者に寄り添うようにしている</p> <p>人権を尊重した研修に力を入れており、人権擁護、虐待防止、ペアレントサポートなどをテーマにした園内研修を実施し、子どもの権利を守り保護者に寄り添った保育に取り組んでいる。日々の保育では、子どもを通称で呼ばないことや呼び捨てにせず、「君」や「ちゃん」で呼んでいる。不適切な保育が見られた時にはその場で注意し、家庭で虐待が疑われるような場合は児童相談所につなげる体制がある。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
保育マニュアルなど各種マニュアルを活用し業務を遂行している 危機管理マニュアルや、感染症対策ガイドライン、虐待防止マニュアルなど各種マニュアルを整備している。マニュアルは事務所で保管しており、いつでも閲覧が可能となっている。保育で迷った時には保育マニュアルを確認し、職員会議や研修などでもマニュアルを活用している。また、マニュアルは行政の巡回指導などで指摘に応じて、また、定期的に見直しをして職員に周知している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しており、区の感染予防マニュアルに従い、手洗いやマスクの着用、1時間ごとの換気などで感染予防に努めている。			
個別の面談や自己チェックで保育水準の向上に努めている 園では職員に毎月月報を書いてもらい、それをもとに園長や時にはエリアマネージャーが面談をおこなっている。月報には今月頑張ったことや嬉しかったこと、反省や来月の課題及び目標のほか、相談や連絡、報告の欄を設け、相談に乗りやすい仕組みを作っている。また、年度を3期に分け、職員には自己評価チェック表で、保育を振り返ってもらっている。個別の面談や自己チェックで課題を見出し、保育の質の向上につなげている。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	30/34
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇)・非該当1		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			<input checked="" type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評				
<p>子ども一人ひとりに発達状況の姿を詳細に記録し、保育している</p> <p>入園時に、子ども一人ひとりの状況や発達の状態を面談で把握し、確認している。年間指導計画や個別指導計画、発達記録表、保育日誌などで、子どもの成長を記録し、全体的な子どもの姿を捉えるようにしている。健康、表現、言葉、環境、人間関係などの発達の過程を詳細に記録して適宜に更新し、次月の個別指導計画に反映させている。また、定期的に健康に関わること、運動、他者との関わりなどを複数職員で確認して、保育経過記録を児童票にまとめている。</p> <p>子どもが主体的に興味や関心が持てるように環境を整えている</p> <p>日々の保育では、子どものやりたい気持ちを尊重し、子どもが好きな遊びを選んで自分で考えて、さまざまな経験が出来るように援助している。玩具や絵本などは自由に選んで取り出せるようにし、ままごとコーナーなどで遊べる環境設定をしている。一斉保育ではなく、一人ひとりが興味・関心を持ったことを主体的に行動し、成功体験が出来るように配慮している。散歩では季節の風や木々や草花など自然に触れたり、様々な人と触れ合い挨拶交わすなど、人・もの・ことへの関心を持てるようにしている。</p> <p>一人ひとりの状況を把握し、子どもの気持ちを尊重した関りに心がけている</p> <p>言語・文化に配慮が必要な子どもには、月齢・国籍・家庭の生活習慣の違いなど把握し、互いに尊重し集団生活の中で自己を発揮出来るように配慮している。また、発達が気になる子どもは行政機関の巡回指導で連携を図り、子どもの成長に寄り添えるように努めている。けんか、かみつきなどのトラブルは子どもの気持ちをくみ取り、職員が代弁しながら双方の気持ちを伝え合えるように、丁寧な対応に心掛けている。また、双方の保護者に誤解が生じないように説明をしている。</p>				
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄つなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評				
<p>登降園時に子どもの様子を把握し、保護者と確認をしている</p> <p>受け入れ時は職員が保護者から家庭での子どもの様子を聞き取り、情報を確認している。視診では子どものケガ、あざ、鼻水、顔色・表情、言葉かけの応答の様子などいつもと違うことや気になったことを確認し、健康観察記録に記入している。子どもの保育の様子は連絡帳で詳しく保護者に伝え、家庭の様子も記入してもらっている。降園時には保護者に直接口頭でその日の様子や健康観察記録にある内容を伝えている。また、職員間で健康観察記録の事項などの申し送りを行い、保護者に直接伝えることや保護者からの伝言も記録し、漏れがないよう努めている。</p> <p>基本的な生活習慣は子どもの発達状況に応じて個別に身につくように努めている</p> <p>食事、排泄、手洗い、着替えなど子ども一人ひとりの発達状況のペースを見ながら、援助の仕方や言葉かけに工夫している。発達過程に応じた基本的な生活習慣が身に付けられるよう、園と保護者で子どもの様子を確認しながら自立に向けて取り組んでいる。0歳児は自食に向けて手づかみ食べを十分にしてからスプーン・フォークに進めており、自分で食べる意欲を援助、見守りしている。トイレトレーニングは、子どもの排泄時間を把握してトイレに誘導したり、子どもの様子やタイミングを見て、トイレに連れていくなど個別に対応している。</p> <p>子どもの生活リズムを大切にしながら家庭と連携を図っている</p> <p>休息や午睡は登園時に連絡ノートや口頭で保護者から情報を得て確認している。家庭の生活リズムを考慮しながら、その日の様子や体調に合わせて子ども一人ひとりの睡眠時間に配慮し、状況に応じて対応している。訪問時には、保育士が0歳児を抱いて寝かしつけている様子が見られた。また、1・2歳児は自主的に布団に入り、休息を取っていた。午睡時間帯は睡眠チェック表を連絡帳に転記して保護者に伝え、家庭と園で生活リズムが整えられるように努めている。</p>				

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

遊びの中で子どもが主体的に取り組めるよう環境を整えている

子どもの興味に合わせて、いつでも遊べるように個別に対応しながら、遊び込める時間を十分に取れるように環境を整えている。年齢に合わせて子どもの手の届く所に玩具や絵本棚などが配置されている。また、ハサミ、クレヨン、折り紙など安全に配慮しながら直ぐに使えるようにしている。つまむ、つかむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊べる物や、大きさ、量、形、色、手触りなどの気づきや感覚を楽しみ豊かにする物など、年齢に応じて様々な工夫した手作り玩具が用意されている。

子どもの遊びや活動を通して決まり事の大切さに気づくようにしている

友だちとのトラブルの場面では保育者が仲立ちとなり、子どもの気持ちを受け止め、月齢によっては代弁をするようにしている。玩具などの取り合いの中で、友だちに譲ることや順番を待つなど、自分の気持ちをコントロールが出来るよう援助している。年齢に応じて、小集団で子どもたちが楽しく活動したり遊ぶ中で、子ども同士の簡単な決まりごとを理解出来るように援助している。

散歩や戸外活動など様々な物に触れ、探索を楽しむ経験をしている

「散歩マップ」のコースに沿って出かけている。公園の遊び方や過ごし方により、砂場の道具などを持って散歩に出かけることもある。子どもたちが初めてのものに会ったり、四季折々の気温や草花の色の変化など自然を肌で感じ、自然に触れながら成長できる機会を取り入れている。夏は水に親しむように玄関前でバケツやたらいなどで水遊びをおこない、水が流れる様子や手のひらで受ける感覚を楽しめるようにしている。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(○○●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

子どもが興味・関心を持って参加し、楽しめる年間行事を実施している

子どもが興味・関心を持って参加出来るように、年間計画を立てて行事を実施している。行事は年齢に応じて参加の方法に配慮し、無理のない内容にしている。日々の保育の延長で楽しめるように工夫し、七夕・夏祭り・お月見・ハロウィン・親子遠足・クリスマス会・節分などを実施している。行事の時は季節や日本の伝統文化にちなんだ行事食を同時に楽しんだり、七夕飾りを作ったり、ワクワク感を持ちながら楽しめるように工夫している。

子どもが行事を通してやり遂げようとする気持ちを持てるように援助している

保育の中でさまざまな行事に参加し、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しんでいる。また、行事に合わせて子どもが制作したものを壁面に飾るなどしている。今後さらに成長に合わせて、「自分でやりたい」気持ちと、みんなで楽しく「できた」という喜びを共有して、喜びを味わえるような工夫に期待したい。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>長時間保育の子どもが安心してくつろげるように工夫している</p> <p>職員は一日の生活リズムや子どもの機嫌、体調などを把握して保育に入っており、迎えの時間まで子どもが安心して、温かな雰囲気の中で絵本を読んだり、子どものペースでゆったりと遊べるように配慮している。また、水分補給や夕食までの空腹を満たす程度の補食が摂れるようにしている。</p> <p>保育形態や担当職員が変わっても楽しく過ごせるようにしている</p> <p>延長保育は1歳児・2歳児は合同で、0歳児は別に保育している。延長時間帯や子どもの状態に応じて、保育者が子どもをゆっくり抱っこしたり、子どもが安心して落ち着くように寄り添ったり、遊びを見守るなどしている。保育形態や担当職員が変わっても楽しく過ごせるように配慮し、迎えに来た保護者には連絡帳だけで伝えられないことや園での様子など、エピソードを伝えるようにしている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが楽しく落ちついて食事がとれるように配慮している</p> <p>食事の席を対角に座るようにしたり、正面に座る場合はアクリル板を使用するなど、新型コロナウイルス対策をしながらも、友達の間を見ながら楽しく食事が摂れるように配慮している。年齢に合わせて、保育士が一人ひとりの喫食状況を見ながら「これ食べようね」「良く食べたね」など、苦手な食材があった時には意欲を持って楽しく食事が進むように声を掛けたりしている。また、子どもが落ちついて食事が摂れるように、食事中や配膳・後片付け時に慌たたくないように配慮している。</p> <p>離乳食、行事食、アレルギー食などを提供している</p> <p>離乳食は家庭で食べているものや形態を確認し、毎月子どもに合わせた離乳食を進めている。子どもの日、七夕、クリスマス、節分などの行事の際は見た目にも楽しい食材を取り入れている。季節の野菜がメニューにあった時は、子どもに「食」への意欲と関心が持てるように意識して旬の野菜などの話をしている。アレルギー対応については、重要事項説明書に医師の診断、指導をもとにした食事対応を記載している。アレルギー食は除去食で対応し、誤配がないようにトレイで区別し、机を分けて配膳して間違いがないようにしている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもの病気やけがなどを防止するため、安全管理に努めている</p> <p>子どもの健康を守りながら生活ができるように、発達に合わせて手洗いの大切さを子どもたちに伝え、自然に習慣づくようにしている。散歩ではコースに従って、歩道橋の歩き方など交通ルールを教えている。公園で遊ぶ時には不審者や危険箇所はないか確認をして、安全に遊べるように留意しており、チェックリスト表で園内外を適宜に点検をしている。ケガなどをした場合は、子どものその時の状況、原因、経過などをアクシデントシート・ヒヤリハット・保育日誌などに記録して、職員間で共有しながら事故の再発防止に努めている。</p> <p>各関係機関と連携を図り、子どもの健康管理に努めている</p> <p>0歳児から2歳児まで、毎月の身体測定と嘱託医による年2回の健康診断、年1回の歯科検診を実施して結果を保護者に伝えている。園での与薬は基本的に実施しないことになっているが、慢性疾患など保育時間での投与が必要な場合には、与薬指示書をもとに保育士が対応している。発達が気になる子どもは、区の巡回指導を通して必要に応じて助言を受けている。</p> <p>子どもの健康維持については保護者と連携し、取り組んでいる</p> <p>登園後の発熱(37.5℃、あるいは平熱より概ねプラス1度以上)、下痢、嘔吐、発疹などの症状が出た時には保護者に連絡し、速やかに迎えに来てもらうことを伝えている。感染症の場合は内容や症状、登園許可証・登園届などについて、重要事項説明書や掲示で知らせている。園内で感染症が発生した場合は玄関掲示板に病名を掲示し、保護者に情報を提供し注意を促している。乳幼児突然死症候群(SIDS)の対策は午睡チェック表に記載している。睡眠時間や排便など保護者と連携を図り、子どもの健康維持の把握に努めている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者と信頼関係が深まるよう取り組んでいる</p> <p>子どもの登園降園は担任以外の職員が担当する場合もあり、子どもの状況は申し送りや毎日の健康管理表などで職員間で共有している。担任と話したい保護者には、できるだけ担任が対応するようにしている。職員は保護者とは日々の挨拶を丁寧におこなっており、子どもの様子は誰でも伝えることができるようにしている。利用者調査(保護者アンケート)では回答者の87%が、職員と信頼関係があると答えており、園の対応が評価されている。</p> <p>子どもの発達や育児について相談できる体制を整えている</p> <p>園の保育については園だよりやクラスだよりなどで伝え、個別のことは連絡帳で伝えたり個人面談で相談に乗っている。送迎時には一人ひとりに声をかけ子どもの様子を共有している。子育ての相談などは送迎時に担任が話を聞き、内容によっては園長が対応している。なお、個人面談はコロナ禍で中止をしているが、次年度は実施したいとしており期待をしたい。</p> <p>保護者の個々の事情に配慮して子育て支援をしている</p> <p>保護者の就労に配慮するとともに、受診時の短時間の保育も受け入れている。保護者同士が交流する機会として、保護者も参加できる夏祭りがあり、保護者同士が挨拶したり、参加者が自由に交流している。利用者調査では回答者の92%が、「利用時間を変更する場合は柔軟に対応してくれている」と答えるなど、保護者のニーズに配慮していることがうかがえる。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(○●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の公園で住民や他園の子ともと交流をしている</p> <p>毎日の散歩では近くの緑道公園や児童遊園等に出かけている。緑道公園は地域の大人や高齢者も散歩しており挨拶を交わしたりしている。児童公園では他園の子どもたちも利用しており交流をしている。散歩コースはいくつか作っており、警察に届けるなど安全に配慮している。また、卒園児が通う区立園との交流も検討している。地域資源を活用してさまざまな体験ができるよう、さらなる取り組みを期待したい。</p> <p>地域の子育て家庭への支援を期待したい</p> <p>0歳児がいるなど園の環境もあり、地域の人を呼ぶことは難しいとしている。そのなかで、今年はコロナ禍で中止をしているが、園の夏祭りには地域の親子にも声をかけ来てもらっている。また、園の見学時には地域の子育て家庭の相談に乗ったりしている。なお、公園などでの絵本の読み聞かせや、離乳食の試食、レシピの配布など、コロナ禍であるが工夫して、できる範囲で地域の子育て家庭への支援を期待したい。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる
タイトル①	子どもの権利擁護に取り組んでいる	
内容①	園内研修では人権擁護や児童虐待防止、ペアレントサポート研修などを実施し、子どもの権利擁護についての理解を深めている。また、虐待防止マニュアルを整備するとともに、職員には人権擁護のためのセルフチェックをしてもらい、結果を集計し傾向などを話し合っている。経営層は権利擁護に関する研修を受講して伝達研修で職員に周知するなど、権利擁護について力を入れて取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	職員の働きやすい環境整備に取り組んでいる	
内容②	職員の働きやすい環境整備に取り組んでおり、有給休暇の消化の少ない職員には取得を促し、半日休暇なども勤めている。シフトの作成時には勤務帯や休暇の希望に配慮している。職員の健康対策にも取り組み、健康診断やインフルエンザなどの予防接種には補助をしている。園長はカウンセラーの資格もあることから職員の相談にも乗っており、健康に留意し、働き続けられる職場を目指している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	経営層は園の目指す保育の実現に向けて職員と共通理解を図りながら取り組んでいる。
	内容	0歳から2歳児までの認可小規模園であり、子どもの安全安心を第一に考えている。子どもたちが安心してゆったりと過ごせる環境づくりに努めており、全職員が共通認識のもと、家庭的な雰囲気の中で保育にあたっている。保育士は子どもの成長を保護者とともに喜び、自らも子どもから学ぶ姿勢を大切にしている。経営層は園の目指す保育の実現に向けて、職員と共通理解を図りながら取り組んでいる。利用者調査(保護者アンケート)では、回答者全員が園について「満足」「たいへん満足」と答えるなど、園の保育は理解されていると思われる。
2	タイトル	子どもが主体性を持って遊び込める環境を整えている
	内容	発達に合わせて絵本やままごと・玩具の遊びのコーナーを設け、自発的に遊び込める環境を整えている。また、子どもたちが絵を描いた入り、色を塗ったり、ハサミを使うスペースを設け、安全に配慮しながら援助している。訪問時には、子どもが職員と一緒に折り紙をする姿が見られた。子どもの興味に合わせて遊ぶことを尊重し、一人ひとりが主体的に様々な遊びに取り組めるように、また、成功体験が出来るように援助している。
3	タイトル	職員に多様な学びの場を提供し資質の向上を支援している
	内容	研修に力を入れて取り組んでおり、職員に多様な学びの機会を提供している。園内研修は年間計画のもとテーマを決めて毎月おこなっており、熱中症対策や感染症対応などの研修は時期に合わせてタイムリーに実施している。園外研修は行政が主催する防災研修や保育の実践的な研修に職員を派遣している。キャリアアップ研修は該当する職員が専門的な内容を受講できるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	防災訓練は、消防立ち合いのもとおこなうことも期待される
	内容	危機管理マニュアルや事故防止マニュアルなど、リスクに関するマニュアルを整備している。避難訓練は年間計画のもと地震、火災、洪水などを想定し毎月実施している。そのほか引き取り訓練や不審者対策などもおこなっている。なお、防災訓練は年に1度は消防にも来てもらい、訓練の指導を受けたり助言などをもらうこともよいと思われる。取り組みを検討されたい。
2	タイトル	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるよう取り組むことを期待したい
	内容	近くの緑道公園への散歩では、地域の大人や高齢者と挨拶を交わしたり、児童公園では他園の子どもたちと交流をしている。さらに卒園児が通う区立園との交流も検討している。地域資源を活用してさまざまな体験ができるようにしたり、子育て相談など地域の家庭への支援も期待したい。
3	タイトル	職員一人ひとりの育成を図る仕組み作りが望まれる
	内容	外部研修受講後は報告書を提出してもらい、資料とともにいつでも閲覧できるように保管し、必要に応じて昼のミーティングで報告をしている。日ごろの気づきや工夫については職員会議や昼礼で話し合い、保育に活かすようにしている。経験の浅い保育士も多いが、園長が随時、助言をしたり指導をしている。なお、職員一人ひとりの育成を図るため、目標管理などの仕組みを作ることも期待される。